

行政懇談会

7月中に小学校区ごとに対話によるまちづくりの一環として行政懇談会が開催されました。各校区の会場での多くの意見や要望を私たち行政側は真摯に受け止め、町民のみなさんがいっそう住みやすい町づくりを目指して頑張っていきたいと考えています。当日での会場の意見・要望は次のとおりです。

昨年度参加者238人、今回参加者541人、前回に比べ2倍以上の参加者となり、学校統廃合についての関心が伺えました。

会場での意見・要望

学校統廃合関係

Q 統廃合を行うことによる、他の事業に及ぼす影響は？

A 今日の和木町の財政状況を分析しますと、現時点においては健全な運営ができていると考えています。

Q 公共施設基金を積み立ててありますが、これを今後20年間積み立てれば、起債をしなくてもできるのではないかと思いますか？

A 今のところ、毎年2億5千万円の積み立ては約束できない。また2町合併により財源の特例措置があるが、最良の方法として財政面を示している。

Q 中学校を和木町で1つという検討はされたのか？

A 皆様のご意見が一同にそのようならば、考えていかなければいけないと思う。

Q 小学校の統合について、急がず4校を2校にする程度で段階を踏んではどうでしょうか。

A 菊水地区の小学校は建設後35年以上経っているものばかりであり、今建て替えた方が、後で建て替えるより、財政的にも有利となる判断をしている。

Q 小中一貫になったら、三加和中学校との統合ができるか、できないかも考えられますか？

A 旧町単位に小・中学校各1校に統合し小中一貫教育を実施した後も、中学校

を統合することは不可能ではない。

Q 一貫教育を目指す理由は？

A 子どもの発達段階に合わせて教育ができるようになり、児童生徒の不安解消、教科専門の先生の確保などがあげられる。

Q 小中一貫校はいつ頃、何年ごろに完成予定なのか。何年ごろを目途に考えておられるのか？

A 今のところスケジュール等示しているのは案の段階であり、皆様の理解を得ながら進めていきたいと考えています。

Q 統合した場合の子どもの登下校の足についての考えは。

A まだ議論までには至っていないが、スクールバスを検討している。

Q 保護者を対象とした説明会を開催して欲しい。

A 今後保護者の皆様には、もう少し資料を持って説明を重ねていきたいと思う。

Q 今年度調査、買収等6千2百20万円を予算化されているが、凍結されるのか。

A 現在執行できない状況になっていますので、町民の皆様のご理解を得て調査に取り組みたいと考えています。

Q 統廃合は決定なのでしょう。

A 番城グラウンドに計画している案が決定ということではない。番城グラウンドを超える提案があれば検討していきたいと考えています。

Q 統合後の旧校舎等の利活用は？

A 学校跡地について具体的には議論は深めていないが、体育館においては、災害時の避難場所や地域のコミュニティの場として、地域で管理をお願いしたいと思っている。校舎については、他市町村の利活用を参考にしながら考えていきたいと思う。

その他

Q 今年度主要施策に地域インターネットの整備があるが、光回線を敷設しインターネットの普及率を上げる目的での事業なのか？

A 今回の事業は、役場本庁、支所、出先機関、学校、保育所、体育館等公共施設を自設の光ケーブル等で敷設する、国庫補助事業である。各家庭へ光ケーブルで接続する事業は町負担が多額になることから今後検討していきたい。

Q 同じ町内でありながら、旧町間の電話通話料に格差があるがどのように解決されるのか？

A このことについては、合併当時も検討を行なった。山鹿管内、玉名管内の市町の同意等が必要であることから、当時は断念した。今後、経費等含めて検討はしていきたいと思う。

Q 人口増対策を考えていただきたい。

A この3年間で450人程度人口が減少している。色々な面から人口増対策に向けて取り組んでいきたい。

Q 路線バスの今後について。

A 広報なごみ7月号において、路線バス利用を掲載しているが、町内のどの路

線も利用者が減少しており、町からの補助金が増えてきている状況である。山鹿瀬高線について、みやま市から9月末で補助の取り止めを申し出されている。関係市町で協議を行い山鹿南関線として残すことになったが、これ以上利用者が減少すると、他の路線も含め廃止の可能性も出てくる。

Q 地デジチューナーの補助制度は検討されているか？

A 検討はしましたが、今年度は難視聴地域の共聴施設への補助を行なう。また、映りが悪い場合は総務課へご連絡下さい。

Q 防災無線の使用についてはどのような内容まで放送できるのか？ 里、行政区単位での放送は可能か？

A 全体放送、校区、行政区単位で放送ができる。営利目的でなければ放送できるが、区長さんを通じてお願いします。

Q 町立病院は悪いイメージがある。学校も大切だが、町立病院にも目を向けてほしい。

A 町立病院スタッフ一丸となって頑張っている。町民の皆様も自分たちの病院として支えていただきたいと思う。現在、病院経営、環境等を良くしていくよう努力している。平成20年度は黒字が見込めるようである。病気時は町立病院をご利用下さい。

Q 猪対策が農産物被害だけではなく、人災になる前に何らかの形での対策を打っていただきたい。

A 現在、猪の捕獲方法として猟友会(三

加和駆除隊)に依頼する方法と箱わなを仕掛ける方法がある。猟友会の捕獲率は6割から7割である。箱わなに関しても役場に6基あり無料で貸し出している。また、町の補助制度も電気防護柵、フェンス等の購入設置費に30%の補助金を交付している。

Q 間伐事業に力を入れていただきたい。

A 現在、森林組合に申請すると役場経済課に連絡がありとりまとめを行なっている。毎年間伐事業の申請は増えてきている状況である。

Q 江田船山古墳公園一帯の名称について、早急に名称を打ち出していきたい。

A 船山古墳として前向きに取り組みますと回答しているが、県と協議、調査を行っているところである。できるだけ早くご期待に沿えるよう努力していきたい。

Q 三加和の夏祭りの予算額を増やして欲しい。

A 毎年100万円の補助を行なっている。主に花火に対する費用に充てられているようです。

Q 高齢者に対する施策を検討して欲しい。

A 現在健康福祉課において、お茶の間筋トレ、社協においても高齢者が健康で過ごしていただく施策を支援していくよう努力している。

Q ヨシの除去をお願いしたい。

A 昨年刈ったところは余計に伸びているようですが、草刈りは昨年実施していない箇所を重点的に行なう予定。

